

ステロイド



ステロイドってどんな薬？

体の炎症をおさえたり、免疫の働きを弱めるお薬です

飲み薬、塗り薬、吸入、注射などさまざまな形があります

お医者さんの治療や処方

- ・塗り薬（軟膏）：皮膚の炎症、アトピー性皮膚炎など
- ・飲み薬：膠原病（関節リウマチ）、肺炎、気管支喘息、アレルギー性疾患など
- ・吸引薬：気管支喘息など
- ・注射：腱鞘炎など
- ・点滴：自己免疫疾患など



歯医者さんの治療や処方

- ・軟膏：口内炎

歯科受診で注意することは？

- 体の抵抗力が下がり、感染しやすくなります
- 抜歯などの治療で、まれにショック症状が出る場合があります
- 骨粗しょう症の薬と一緒に使っている場合、顎骨のトラブルが起きやすくなると言われています

安全に歯科治療を受けていただくために、ステロイドを服用・注射をしている場合は、必ず歯科医師にお伝えください

医療DXとは？

医療DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して医療サービスの効率化と質の向上を図る取り組みです

ぜひマイナ保険証による医療情報のご提供にご協力をお願いいたします

歯科受診時にお伝えいただきたい 疾患、病歴、服薬、治療歴情報

高血圧症、糖尿病、不整脈、心疾患歴
脳血管障害歴、骨粗しょう症、甲状腺疾患
呼吸器疾患（気管支喘息）、肝疾患歴、腎疾患
貧血歴、各種アレルギー、てんかん、リウマチ
妊娠中、認知症、パーキンソン病
特定の薬で副作用がある方、免疫療法中の方
感染性疾患や消化器系疾患で治療中の方
ステロイド剤を服用、吸引中の方
睡眠導入剤・精神安定剤服用の方
放射線治療歴のある方など

詳しくは下記QRから情報をご確認ください



（マイナンバーカードをお持ちではない方はお薬手帳をご提示ください）



葛飾区歯科医師連盟HP
活動やご挨拶はこちらから
katsushirenmei.com
（葛歯連盟ドットコム）

葛飾区歯科医師会の会員が支える

歯と口からの健康

—歯科受診と全身疾患 医療DX 編—

こどもから高齢者まで幅広い年齢層が
安心して生活ができるように
歯科受診時における安心安全の情報を
区民と共に議会を通じ
担保していくことが
葛飾区歯科医師連盟の活動です

葛飾区歯科医師連盟は
区民のお口の健康増進のために
医療DXの活用を推進しています



葛歯連盟公認キャラクター
マイにゃ



葛飾区歯科医師連盟

Since 1951

血液サラサラのお薬

血液をサラサラにするお薬は？

- ・抗血小板薬（バイアスピリン、パファリン）
- ・抗凝固剤（ワーファリン、ヘパリン）
- ・直接経口抗凝固薬DOAC
ダビガトラン（商品名：プラザキサ）
アピキサバン（商品名：エリキュース）
リバーロキサバン（商品名：イグザレルト）
エドキサバン（商品名：リクシアナ）

が、お医者さんから主に処方されています
拔牙、歯周病の手術、インプラント治療など
出血を伴う治療は注意が必要です！



歯科受診で注意することは？

- 拔牙など出血を伴う処置で血が止まりにくくなります
- 歯科医院で休薬の判断はできません
- ご自身での判断で服用を中止はしないようにしてください
- 通常のスクレーピング（歯石除去）は問題がありません

服用されている場合は、歯科医師もしくは
歯科衛生士にお伝えください

糖尿病

糖尿病は感染への免疫が低下し、易感染となり
口腔外科治療は注意が必要です
またエピネフリン含有歯科用リドカインによる
局所麻酔は禁忌とされています

経口血糖降下剤を服用の場合は、かかりつけの
歯科医師・医師にご相談ください

高血圧症

高血圧症は歯科治療が受けられない！？

病院で計測した場合（診察室血圧）
140以上／90以上
家庭で計測した場合（家庭血圧）
135以上／85以上
が高血圧と診断されます ※単位はmmHg
（日本高血圧学会の高血圧診断基準）



重度な高血圧症の場合、局所麻酔の使用や出血を伴う
治療、長時間の治療ができない場合があります

高血圧症の治療薬は？

- ・カルシウム拮抗薬
- ・アンギオテンシンⅡ受容体遮断薬（ARB）
- ・アンギオテンシン変換酵素阻害薬（ACE阻害）
- ・利尿剤、β遮断薬、α遮断薬
の6種類があります

歯科受診で注意することは？

- カルシウム拮抗薬は薬物性歯肉増殖症（歯周病のひとつ）を誘発することがあります
- 血管収縮剤入り麻酔薬の使用で血圧が上昇することがあります

骨粗しょう症

骨粗しょう症の治療薬の副作用で顎骨壊死を
ひき起こします（注射も注意が必要です）

- ・BP製剤（ビスフォスフォネート製剤）
- ・抗RANKLモノクローナル抗体（デノスマブ）
- ・抗スクレロスチン抗体（ロモソズマブ）

上記のお薬を服用している方は、歯科医師
にお伝えください

舌下免疫療法

アレルギーの原因になるもの（スギ花粉やダニなど）を少しずつ体に慣らしていく
治療です

小さな子どもから大人まで使える治療
で長い期間続けて服用します

お薬の名前は？

- ・シダキュア、ミティキュア、アシテア

歯科受診で注意することは？

- 拔牙などの観血処置
- 口内炎や口腔内に傷や炎症がある場合
薬剤の吸収に影響を与えたり、出血や
炎症が継続する可能性があります

休薬が必要な場合もありますので、かかりつけ
医にご相談ください

喘息の種類



☆アスピリン喘息

☆アトピー型喘息（アレルギーに反応する）

☆非アトピー型喘息（アレルギーに反応しない）

アスピリン喘息は、アスピリンだけではなく
ロキソニンなどのあらゆる解熱鎮痛薬
で強い発作を起こす可能性があります

またアレルギー反応が原因の喘息は歯科
麻酔薬への注意が必要な場合があります

喘息の持病をお持ちの方は、歯科医師に
お伝えください